



# 市長に鋭い質問を行った 12人の中学生議員たち

見ると、結果は、ねらい1の家族と一緒に弁当を作っている人が8%、その中で、62%が家族との絆を深められたと答えました。ねらい2で食の大切さや給食を作ってくださいる方などへの感謝の気持ちを持たたという人が78%でした。また、ねらい3では、食べ物や粗末にしくなりましたと答えた人が67%という結果でした。

市で定めたねらいが、市全体ではどの位達成されているのか、また、それを知るために市ではどのような方法を採用しているのか教えていただけないでしょうか。そして、その結果として、弁当の日は今後、どのような方向で行くのか、そして、ねらいを達成させる手立ての一つとして「ランチルーム」の設置を考えていただけないでしょうか。

## 【教育長答弁】

「弁当の日」を設置した理由として3つ狙いを定めてお願いしました。伊奈中学校では、山田さんが調べていただいたとおりですが、つくばみらい市の4つの中学校全体では、自分で作っている人と家族と一緒に作っている人が9%です。その中で、家族との絆を深められた人が25・4%でした。それから、食の大切さや給食を作ってくださいる方への感謝の気持ちを

持てた人が64・4%でした。次に、食べ物や粗末にしくなりました人が73・8%でした。さらに、市内の中学生が「弁当の日」についてどのくらい理解をしているか聞いたところ、約55%の人が理解している。小学生においても約57%のみなさんが「弁当の日」について理解していると回答を得ました。

市では「弁当の日」に限らず、「食育」を進めるため学校、それから給食センターなどの協力によって、さまざまな学習、取組をしています。また、「食育」を進めるに当たって最も身近にあるのが、家庭の食事ですから、家族の皆さんの理解を深めるため、親子そろっての「食育」の学習を実施したり、PTA懇談会などでは試食会を開催し、栄

養バランスなどの講習会を開催しております。

「弁当の日」は設置してから2年半が経過しましたが、それぞれ皆さんは、食の大切さ・体の健康・感謝の気持ちなどを考える良い機会になったのではないのでしょうか。これからも「食」について一人ひとりが幅広い知識を身につけ、これからの長い人生の中でそれらを大事にしていきたいと思っています。

最後に、「ランチルーム」の設置ですが、各学校での空き教室の状況、整備するための工事費などさまざまな問題が発生してきます。それらの学校の状況、あるいは、学年を超えた交流が出来るのが一番いいと思っておりますので、何かいい方法があれば、これから検討していきたいと思っております。

## 駅までの道路について



わかばやし せいじゅ  
若林 清樹  
議員

(伊奈東中 3年)

みらい平駅まで行くためには、どうしても、ゴルフ場の近くの道を通らなければなりません。

しかし、その道は道幅がとても狭く、トラックなどの大きな車が通ると、ギリギリ通れるかどうかというぐらいの道路です。そして、駅から近いせいかとても交通量が多くなっています。特に、朝晩は交通量

伊奈東地区からTXみらい平駅までの道路についてお願いがあります。

伊奈東地区の人たちがTX